

# 学園祭

[桃李歌壇](#)

[目次](#)

## 連作和歌 百首歌集

2008/10/3-2009/3/16

8101	さわさわと吹奏楽の響きけり学園祭は雨となりしも	やんま	10月3日 07時48分
8102	灯点りし古き煉瓦の校舎よりトランペットの高く響ける	真奈	10月3日 23時50分
8103	教室の廊下をあるく学生の一点にしぼる視線はりつく	くりおね	10月4日 06時47分
8104	まなび舎の廊下を渡る芋虫は陽の射すほうへ緑を求め	獅子鮎鯨	10月4日 11時00分
8105	芋虫も或る日極楽鳥となり陽に耀きて風に歌ふか	真奈	10月7日 11時40分
8106	火の鳥の永久(とわ)の火の粉をまきちらしときのとまりしこともありけり	くりおね	10月7日 20時30分
8107	やすみなき緊張のひと世この焔(ほむら)いのちの重さただにひたすら	れん	10月12日 13時04分
8108	遙かなる筑波嶺めざし歩みけり命の家舎の道はひとすじ	丹仙	11月1日 18時29分
8109	はてしなく音信不通に試される信じることの祈りにも似て	くりおね	11月2日 11時22分
8110	坂東の霊場巡る若き日の裏筑波にて晩鐘を聞く	やんま	11月3日 05時29分
8111	秋の日に板東太郎は光りけり渡れば鹿島の要石かな	弁慶	11月3日 10時51分
8112	朝焼けの相似し赤き色なれど秋の光のなぜに寂びしき	重陽	11月4日 05時08分
8113	秋唳々オバマ勝利の報に沸くWASPの壁に朝の閃光	真奈	11月7日 23時05分
8114	幾つかの眠剤のめど霜月の夜はしらじら朝となりゆく	れん	11月19日 02時59分
8115	あかあかと朝日かがやきもみじ燃えまばゆきこの世は神代なりけり	くりおね	11月20日 20時23分
8116	夕陽に黄金耀よふ大銀杏行く人暫し滞りつつ	重陽	11月24日 09時34分

8117	小春日の風穏やかな峠道紅葉散る々小夜の中山	弁慶	11月24日 13時32分
8118	千年の銀杏黄葉をゆるがせり海まで木枯らしひと暴れする	くりおね	11月28日 21時16分
8119	雲白く遠きが悲し空の色千年の古都柿を実らす	やんま	12月3日 07時49分
8120	山崎の山を仰ぎつ待庵に利休数奇の念いとぞ知る	重陽	12月3日 19時16分
8121	清水へ石段登れば右左茶碗商い所狭しと	弁慶	12月4日 12時27分
8122	駅前の広場に大道芸人が聖歌うたえば人の集まる	くりおね	12月4日 19時44分
8123	賑わいの京の小春の真如堂そぞろ歩きに紅葉降り敷く	重陽	12月6日 05時01分
8124	清滝の川の流れに峰々の紅葉散り込む北山の里	弁慶	12月6日 08時04分
8125	御岳の雪嶺聳えはるばると木曾川流れ鴨の遊び場	くりおね	12月7日 19時29分
8126	神さぶる糺の森の神無月世界遺産の永久を祈らん	重陽	12月8日 05時21分
8127	紅葉散るならのおがわのせせらぎに微笑む顔を映す君かな	弁慶	12月8日 21時48分
8128	紅葉の満天星いつか散りゐたり身の巡りはもクリスマス過ぎ れん	れん	12月26日 00時38分
8129	数へ日のひと日ひと日が過ぎゆきてこのひと年のことぞおもほゆ	重陽	12月26日 05時06分
8130	日々いとし思えば胸の痛む日も過ぎれば甘く妙なる調べ	くりおね	12月26日 19時31分
8131	寒き日の空晴わたり北見れば海の彼方に雪の富士見ゆ	弁慶	12月27日 21時33分
8132	晴れ渡るそらの束の間よぎりゆく雲は揉まれて何処にゆくや	れん	12月28日 00時00分
8133	年の瀬の休日ダイヤのバスを待つ人それぞれの午後の陽だまり	重陽	12月28日 09時35分
8134	冬晴れの夜空の星のかがやきに人のつながりとわに息づく	くりおね	12月28日 21時07分
8135	束の間を晴れしころの安らぎか寂しい思ひなぎてゐたりし	れん	12月30日 07時40分
8136	冬晴れの除日のどけき午後の日に砂浜駆ける子らのにぎはひ	重陽	12月31日 14時11分
8137	砂山の彼方に見ゆる朝焼けの富士の高嶺に雲湧きにけり	弁慶	12月31日 20時20分

8138	砂の器つくり遊びし遠かりき吾の幾つの記憶ならむや	れん	12月31日 22時18分
8139	砂を踏み海へ向かふか泥牛や往きて還らぬ年の風浪	獅子鮫鱒	1月1日 22時05分
8140	宇宙銀河のかがやきにもましてやゆりうごかせる愛というもの	くりおね	1月2日 09時17分
8141	志てふ熱きものあり冬銀河点す一灯日比谷公園	真奈	1月2日 14時59分
8142	熱爛を二日続けて見る夢に涌く雲ありて鵬翼を張る	獅子鮫鱒	1月2日 22時42分
8143	初夢に参賀の旗と炊き出しのテレビニュースが出でて目覚めぬ	重陽	1月3日 04時56分
8144	初夢の我若くして帆を立つる霞ヶ浦に筑波仰ぎて	やんま	1月3日 10時06分
8145	行き帰り苦しき坂ぞ権太坂歳の初めの箱根駅伝	弁慶	1月3日 14時45分
8146	駅伝にわく道筋に炊き出しのテント村あり去年今年	重陽	1月4日 06時21分
8147	経済は天災ならず炊き出しに政府は出さず自衛隊は	獅子鮫鱒	1月7日 09時39分
8148	炊き出しの都会のテントに集まれるニュース痛烈年末年始	れん	1月9日 18時09分
8149	日本の真価問われし冬の街背をまるくして雨ニモマケズ	くりおね	1月10日 08時59分
8150	歌詠むにふところ寒し梅苑に梅干しだけの握り飯喰ふ	獅子鮫鱒	1月12日 16時48分
8151	ぼりぼりと齒に心地よきたくあんの一切れ旨し真っ青の空	重陽	1月13日 09時44分
8152	ひよどりの飛び交う庭に霜降りる土の中からチューリップの芽	くりおね	1月20日 22時05分
8153	契りから相身互いて五十年倦まず撓まず老を偕にす	重陽	1月20日 1月21日 05時19分
8154	我らまたシルバー記念の歳なれど子らは巢立たず老いもあたはず	丹仙	1月23日 21時48分
8155	若者の言葉が人を動かせり大統領のスピーチライター	くりおね	1月24日 08時05分
8156	国権に居座る者の言霊は空理を吐きて民に響かず	獅子鮫鱒	1月31日 23時24分
8157	愚の民に愚の宰相やおのれ見よマスコミを見よ春の渦巻	やんま	2月3日 06時26分
8158	幸福とは平々凡々日を送り人畜無害の生涯を言う	弁慶	2月3日 08時06分

8159	人よりも牛でありたし琴聴くもおだてに乗らず青草を食む	獅子鮫鱈	2月3日 08時18分
8160	ひとつ飛び寝るに短きフライトで南の島に夏を食みたり	重陽	2月6日 07時01分
8161	しだれ梅あかきがすこしゆれてゐる春の嵐の去りしひととき	れん	2月16日 13時13分
8162	さればとて春の嵐に身をゆだね一蝶海をわたるその意気	真奈	2月17日 20時45分
8163	閣僚の身を曝したる醜態に一蝶ほどの気概すらなし	重陽	2月18日 10時15分
8164	海越えて友来たるなり吾もまた胡蝶の夢をしばし語らむ	丹仙	2月23日 08時53分
8165	韃靼の海を越えたる蝶の夢恋のしじゅうを思ふ春宵	かわせみ	2月23日 21時10分
8166	てふてふの海峡とびゆく果敢なり惑へるわれのしなやかにあれ	れん	2月24日 12時24分
8167	海越えてネットの友が来たるなり初の邂逅なれど知己なり	重陽	2月24日 19時00分
8168	翅ひろげはるばるやどす海の色水平線の向こうの国から	くりおね	2月24日 23時47分
8169	暖かき冬越えきたる湘南のすでに春めく二月の海は	重陽	2月25日 06時10分
8170	小庭なる隅に黄色き菜の花の寄り合ひて生ふ春の明るし	れん	2月26日 07時46分
8171	黄の色の雨にけぶりし山茱萸（さんしゅゆ）のあまり臃ろに夢かと思ふ	真奈	2月26日 09時46分
8172	そこかしこ春の足音しのびよる大地に風に青年の目に	くりおね	2月26日 21時17分
8173	古戦場の大地に降るふる雨のなか黄色きミモザの香り漂ふ	れん	2月26日 21時55分
8174	晴れし日は光りにそよぐミモザの黄けだし冷雨に堪へ難からん	重陽	2月27日 13時43分
8175	重たげに揺るるミモザに寄りゆけば花虻あまたつどふ顛音	かわせみ	2月28日 02時07分
8176	スーパーへ走るペダルのかろやかに花びら花粉ミモザのけぶる	くりおね	2月28日 09時49分
8177	杉はいう「こんなわたしにだれがした」さして人間花粉症なり	重陽	2月28日 18時33分
8178	通勤の群れはマスクに鎧へども杉の花粉の波状攻撃	かわせみ	2月28日 22時40分
8179	やすらはで寝なましものを花粉症かこち顔なるくしゃみ三回	真奈	3月1日 11時05分

8180	涙目にはな声をして春の冷え四苦八苦なるは花粉症なり	れん	3月1日 11時56分
8181	喜びは確と目標ありてこそ花粉マスクのあと五十日	重陽	3月1日 15時29分
8182	東京に六花舞ふニュース見てみたり富士の麓の暖かき部屋で	れん	3月2日 08時44分
8183	裾長きふもとに深い樹海ありすでに朝から鳥のさえずり	くりおね	3月2日 19時10分
8184	春の霧さらさらと行く樹海あり湖畔の宿に浅き夢醒む	やんま	3月3日 06時55分
8185	影おぼろ修二会の僧の声明を格子の外に夢のごと聞く	かわせみ	3月4日 00時59分
8186	声重き修二会の僧の声明のかの雪の夜が今に覚ゆる	重陽	3月5日 16時14分
8187	半眼に花眺めをり昭和の子東京空襲祈る慰霊碑	真奈	3月7日 11時13分
8188	最善を尽せどすべて仇となる無常の時光半眼に見ゆ	丹仙	3月7日 19時01分
8189	はかなしき無常の闇に誘はれてむなく過ごす時ぞともなし	光源氏	3月7日 23時59分
8190	今宵また侍JAPAN雄々しけれ萎れしわれら世界にとまれ	重陽	3月9日 17時32分
8191	いつのまに香りの高さ沈丁花どこからともなく春の風ふく	くりおね	3月9日 22時49分
8192	ひそやかに匂ひを込めし梅が香に君待つ宿の心あやなし	光源氏	3月10日 20時45分
8193	やさしさに助けられてはほのぼのとあかりさしくる生きゐることに	れん	3月11日 01時05分
8194	かにかくに憂き世の勤め続き居てあなた任せの春暮れむとす	丹仙	3月11日 14時35分
8195	春よ春ひとへに酒をふるまひてあかぬ別れの送りに添へし	光源氏	3月11日 17時35分
8196	労働者・学生・市民の皆さん！と連帯の声かつて街にあったけど	真奈	3月11日 22時52分
8197	明け暮れの政治経済なべてみな枯野の如し春というのに	重陽	3月12日 09時26分
8198	明け暮れの政治駆け引きむなしけり拉致被害者の春まだ遠き	光源氏	3月13日 09時21分
8199	洞窟の壁影追へど背面の光知らざる吾（あ）も囚人（めしうど）ぞ	丹仙	3月15日 17時20分
8200	春の風干潟に光るひとり乗りヘリコプターにグライダー飛ぶ	くりおね	3月16日 13時23分